

をすゝめてゆく上に極めて大切なことである。しかし清潔の習慣は決して一朝一夕には養へるものではない、殊に幼児は病氣の危険など全く知らないから日常よく清潔の必要なことを教へて早くから清潔を好む習慣をつけるやうに躰けなければならぬ。近時我が國の醫學も著しく進歩し泰西の先進國に對しても著しい遜色を見ないやうになつた、しかし未だ一般國民の衛生思想は決して進歩したとは云へない、不潔による種々の傳染病が四季その跡を絶つことのないのを見てもよく知られる。小さな幼児の頃から不潔を厭ふ習慣を養つておくことは極めて大切なことである。

幼児がつくつたお話

附屬幼稚園七歳の男兒

あるところにおぢいさんとおばあさんがありました。

おぢいさんは山へいつて木こりにあひました。そして「木こりさん木こりさん木をくださいな」といつて木をもらひました。そしておうちへかへりました。するとおばあさんがあません。おぢいさんはあちこちさがしましたがあません。たんすのひき出しをあけて見ますとおばあさんが風船になつてあました。おぢいさんがおどろいて見てゐるうちにおばあさんの風船はふわり〜と天井へのぼつていつて天井へくつついてしまいました。おぢいさんはものさしをもつてきてその天井の風船をとらうとしますと風船はまだ外へとび出してしまいました。そして柿の木の枝にぶつつかつてひつかかつてしまいました。

柿の木にはお猿がとまつてゐました。そしてその風船を見て柿と思つたものですから手でぎうと風船をつかみました。風船はぼーんとこわれてしまひました。